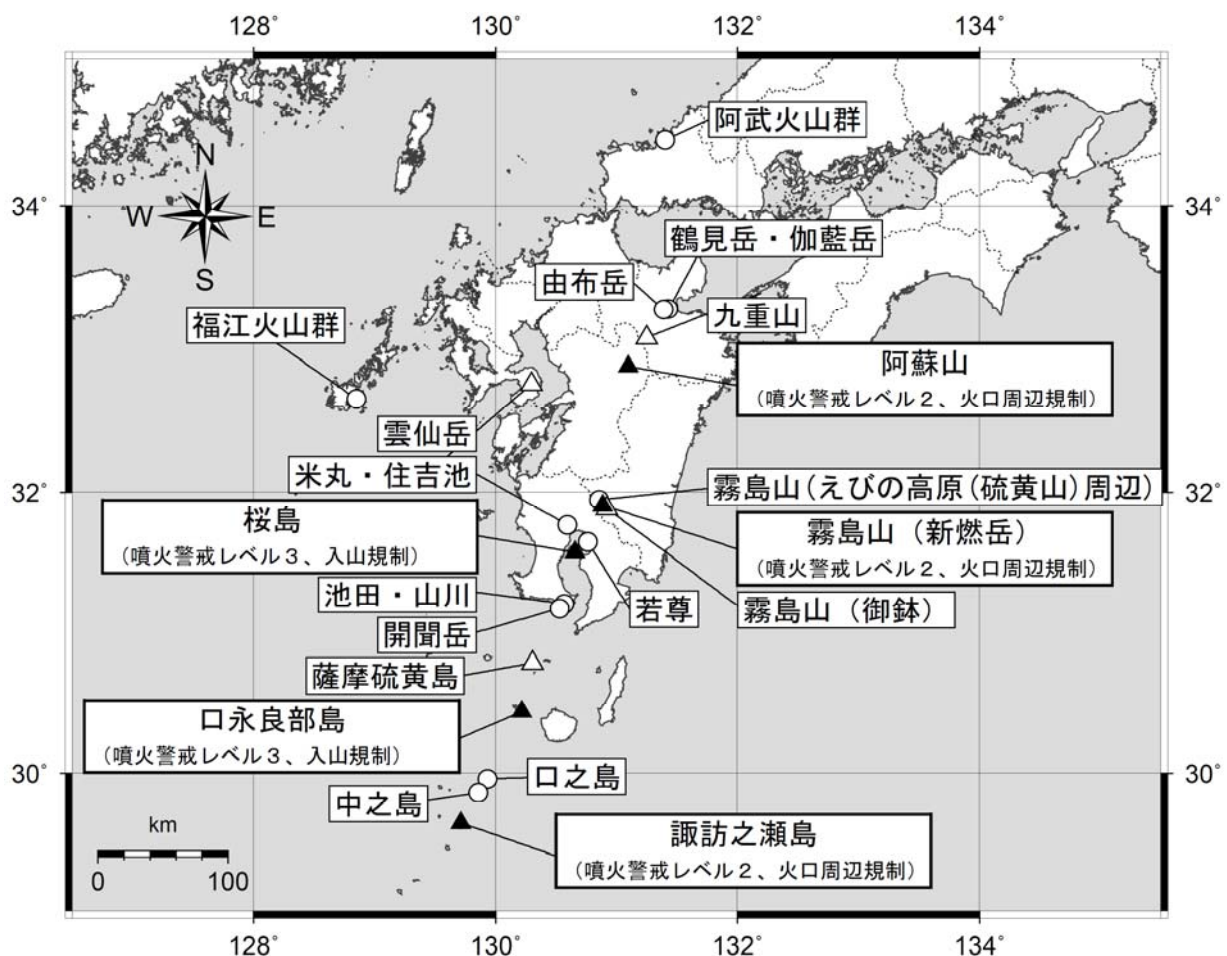


管内月間火山概況（平成27年4月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月1日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル2（火口周辺規制）	阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（平常）	九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	平常	阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、霧島山（新燃岳、御鉢以外）、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



凡例

噴火警戒レベル対象火山
噴火警戒レベル対象外の火山

▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成27年5月分）は平成27年6月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、5月1日（期間外）に噴火予報を発表し、火口周辺警報（火口周辺危険）を解除しました。

その他の予報警報事項に変更はありません。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳は活火山であることに留意してください。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、GNSS 連続観測によると、わずかに伸びの傾向が認められますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

九重山は活火山であることに留意してください。

あそさん 阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

阿蘇山では、噴火活動が続いています。

中岳第一火口では、断続的に噴火が発生しています。23、24 及び 26 日には、灰白色の噴煙が火口縁上 1,500m まで上がりました。

火山性微動は、概ね振幅の大きな状態で継続しました。5月3日 22時04分（期間外）に、継続時間約5分間の振幅の大きな火山性微動が発生し、南阿蘇村中松で震度1を観測しました。翌日（4日）の現地調査で、この火山性微動に伴って噴出したと推定される降灰の痕跡を確認しています。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。火口周辺では強風時に小さな噴石が1kmを超えて降るため、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石にも注意してください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められませんが、長期的には2010年頃から火山性地震の活動がやや活発となっており、今後の火山活動の推移に注意してください。

雲仙岳は活火山であることに留意してください。

きりしまやま しんもえだけ 霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

3月下旬以降、新燃岳火口直下を震源とする火山性地震がやや増加しました。

GNSS 連続観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013年12月頃から伸びの傾向が見られていましたが、2015年1月頃から停滞しています。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降る恐れがあるため注意してください。

降雨時には、泥石流や土石流に注意してください。

きりしまやま おはち 霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

霧島山（御鉢）は活火山であることに留意してください。

きりしまやま
霧島山（えびの高原（こうげん硫黄山）いおうやま周辺） [噴火予報（平常）] ←5月1日（期間外）に火口周辺警報（火口周辺危険）から引下げ

えびの高原（硫黄山）周辺では、2013年12月頃から火山性地震の多い状態が続いていましたが、2015年4月頃から少ない状態となっています。2014年8月20日には、硫黄山付近が震源とみられる火山性微動が発生しましたが、その後は発生していません。GNSS連続観測では、えびの高原（硫黄山）周辺の一部の基線で、2013年12月頃からみられた地盤の伸びの傾向は、2015年1月頃から停滞しています。火山活動によると考えられる傾斜変動は認められません。また、噴気は認められず、赤外熱映像装置による観測では熱異常域は認められません。硫黄山周辺の全磁力繰り返し観測でも、地下の熱活動の高まりは認められません。

以上のことから、えびの高原（硫黄山）周辺の火山活動は低下しており、硫黄山周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、5月1日（期間外）10時00分に噴火予報を発表し、火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（平常）に引下げました。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

さくらじま
桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

昭和火口では、爆発的噴火が112回発生するなど、活発な噴火活動が継続しました。

桜島島内の伸縮計では、2015年1月1日頃から山体の膨張と考えられる変化が継続しています。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

さつまいおうじま
薩摩硫黄山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

薩摩硫黄山は活火山であることに留意してください。

くちのえらぶじま
口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

口永良部島の火山活動は活発な状態が継続しています。

噴火は発生しませんでしたでしたが、火山性地震が時々発生し、火山ガスの放出量は多い状態で経過しています。また、夜間に遠望カメラ（高感度カメラ）で火映を時々観測しました。

以上のように火山活動の高まりがみられており、今後、爆発力が強い噴火や規模の大きな噴火に移行する可能性があります。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降る恐れがあるため注意してください。

降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

すわのせじま
諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

おたけ御岳火口では、爆発的噴火が2回発生するなど、活発な火山活動が継続しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。